

FOCUS

追いかける。大学生。

特集

禁煙 or 分煙

9 大学独自調査

煙草が値上げされ、禁煙に向かう風潮が主流となっている近年。関西の大学でも喫煙に対して、方針を決める時期を迎えている。そこで今回、UNN 加盟大学の喫煙状況について調査した。

表：UNN 加盟 9 大学の状況

大学名	対応状況
京都大	喫煙スペース設置
大阪大	喫煙スペース設置
神戸大	喫煙スペース設置
関西大	喫煙スペース設置
関西学院大	喫煙スペース設置
同志社大	喫煙スペース設置
立命館大	2013年4月から全面禁煙
京都女子大	いずれ全面禁煙の方針
神戸女学院大	全面禁煙

駅、レストラン、病院。禁煙や分煙を押し進める施設が増えているなか、大学もその判断に迫られている。UNN 加盟 9 大学（京阪神、関関同立、京女、神女院）に調査したところ、キャンパス内を全面的に禁煙するという方針を打ち出している大学がみられた。立命は、付属の学校なども含めた全体で、キャンパス全面禁煙に取り掛かっている。確実に全面禁煙を浸透させようと、まずは 2010 年に教員の大学内で

の禁煙を開始。2013 年の 4 月からは、学生も含めた全面禁煙を開始する予定だ。一方、神女院ではすでに敷地内全面禁煙が施行されている。しかし、全面禁煙には踏み切らず、分煙にとどめるという姿勢を見せる大学が、現時点では多い。関学では、2011 年度秋学期から喫煙場所を明確化し、所定場所以外での喫煙を禁止。灰皿の数を大幅に減らした。また、分煙マップによって所定喫煙場所を明示するなど、学生に確

「全面禁煙」やりすぎでは？

実に浸透させるため工夫を凝らした。関学の担当者は「喫煙者に配慮するというよりは、全面禁煙にすることにしておこる弊害を避けたかった」と話す。担当者によると、仮に全面禁煙とすると、学生がキャンパス外で喫煙することとなり、近隣住民に影響を与えかねないという。また、同じく分煙を進める関大は、各学舎の一つは設けるよう努めるなど、喫煙者、非喫煙者の両者に配慮している。

学生からは、全面禁煙に疑問を呈する声が上がっている。一方、親の煙草のせいで喘息となってしまう、煙草が嫌いだと話す学生（神戸大・1 年）は「煙草は嫌いだけど、めちゃくちゃに厳しいルールを作る必要もないと思う。きちんと分煙されていたら、それでいいのでは」。自身も喫煙者だという男子学生（同志社・2 年）は「全面禁煙にしたところで、みんなが守るようには思えない」と話した。

UNN 関西学生報道連盟

FOCUS は

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです